



令和3年度町会活性化モデル事業 万代町会防災訓練

1

報告の概要

- 1 訓練実施の目的
- 2 活性化のポイント
- 3 新たな発見と課題
- 4 モデル事業の感想



2

2

1 防災訓練実施の目的

- ① 安全と安心，災害時の備えや心構えを育む。
- ② 町会の役割や重要性を再認識してもらう。
- ③ 活性化するために必要なものを考える。
- ④ 新役員による新たな協力体制を構築。



3



活性化策の検討の様子

2 活性化のポイント

強化項目は
4つ

- ① 情報発信の強化
- ② 町会活動の理解促進から町会加入の強化
- ③ 企業連携の強化
- ④ それぞれの役割分担による協力体制の強化

4



① 情報発信の強化

- ポスター、チラシの作成
 - ・ ポスター → 万代町にある小売店などに張り出し（計 13カ所）
 - ・ チラシ → 約730世帯に配付
- ホームページを開始
内容：訓練実施の告知，企画会議の様子，イベントの様子などを掲載
- 報道機関による取材
（北海道新聞，函館新聞）

情報発信の強化のつぎ ホームページの開設



万代町会ホームページ



ホームページ
周知チラシ

情報発信の強化のつぎ
報道関係



令和3年9月10日 函新

令和3年9月10日 道新みなみ風



簡易ベッドや消火体験
函館・万代町会が訓練

【函館市】町会役員訓練を行った万代町会。町会役員は、町会員の防災意識を高めるため、簡易ベッドや消火体験を行いました。町会役員は、町会員の防災意識を高めるため、簡易ベッドや消火体験を行いました。町会役員は、町会員の防災意識を高めるため、簡易ベッドや消火体験を行いました。

令和3年9月25日 道新

② 町会活動の理解促進から町会加入へ

◆ 町会活動の必要性の理解

災害は、突然おそい掛かってくる！
町会が地域にとって必要な存在だと知ってもらう。

- ・ 万代町に住む約730世帯にチラシを配布
- ・ 防災訓練の実施

◆ 加入意識の醸成

町会は、地域のよりどころであり、助け合いの原点

- ・ 随時、新たな住人に戸別訪問
- ・ 春先に未加入の住人に戸別訪問

勧誘方法の工夫が課題（勧誘の決まり文句）

③ 企業との連携

- 訓練補助員の参加 . . . 2社
- 資材や食材提供 . . . 2社
- 車両での搬送 . . . 2社
- ポスターの掲示 . . . 13社



うち1社と連携を強めるために
防災協定の締結を決定
(令和4年4月1日付)

その他の連携協力（市職員への派遣）

- 函館市大縄消防 . . . 消火訓練
- 総務部災害対策課 . . . 資材提供, 助言



④ 訓練項目ごとにそれぞれの役割分担

万代町会防災訓練 役割分担表

【総責任者・本部長】本澤 会長
 【本部長】西田 副会長、南 副会長、新 副会長、坂山 副会長、
 天野 万代クラブ会長

項目	責任者	協力者（補助役）
① 演習訓練	北澤 総務課長	
② 防災訓練準備	新 副会長	坂山 副会長 天野 万代クラブ会長 西野 消防課長 本澤 防災課長
③ 避難訓練	資料 老人ホームばんだい 石川さん	北澤 総務課長
④ 防災し訓練	本澤 会長	西野 消防課長 川村 文化振興課長
災害本部受け付け (運営)	南 副会長	高橋 総務課長 民生委員 (1名)
記録係	西田 副会長	

指令系統

会長 → 各担当へ個別に指示



会長 → 各担当, 役割分担を決定
(それぞれが責任者)

しっかり, 役割分担を決めることで
準備, 当日ともにスムーズ

3 新たな発見と課題

企画の段階から、みんなで十分な話し合い
やるべきことが共有化、準備や実施がスムーズ

町会館の都市ガスを災害に強いプロパンガス
に変えるという選択肢も必要

ホームページの更新体制を作る
町会館にインターネットの環境が必要

専門部(ICT部)といった体制づくりが必要
SNSが得意な若い人に手伝ってもらいたい

11



ありがとう
ございました

